



## 令和4年度 生涯学習リレー講座 「江別を知るタイムトラベル」

令和4年9月2日、9日、16日の3週にわたって生涯学習リレー講座が開催されました。今回は、第1回目の講座内容について紹介します。

### 講座1 「江別の屯田兵」

講師 屯田資料館解説員 龍本 英世 氏

今年度のリレー講座は昨年度に引き続き、「江別を知るタイムトラベル」をテーマに、江別の歴史をさまざまな視点から探るもので、第1回目は屯田兵の時代へいざなう企画です。

講師の龍本英世(たつもと ひでよ)氏は、第二小学校教頭、江別太小学校校長を歴任され、市教育委員会や郷土資料館に勤務されました。平成27年から現在に至るまで、屯田資料館で解説員として活躍されています。

講演の第1話「屯田兵制度の起因」では、当時のロシアの南下政策に対する恐怖感が、明治初期の北海道における開拓事業という発想に繋がったことについて詳しく説明されました。

第2話の「屯田兵制度の設置と変遷」と第3話の「江別の屯田兵村」では、江別に屯田兵が設置された理由(札幌に隣接し、内陸開発の入り口として川と陸をつなぐ運輸の要衝であり、月形などの集治監からの脱獄者の逃亡防止に重要な地点であること)と、江別三兵村(江別、篠津、野幌)



第4話の「現在残っているもの」では、市街地の平行四辺形の道路区画、市内の数々の記念碑、屯田資料館(第三大隊第二中隊本部)、道路の名称(兵村13丁目通り)などが紹介されました。

これらの通じて、明治11(1878)年に岩手県出身の屯田兵10戸が石狩川沿いの現緑町から王子辺りに初めて入地する歴史と、その後のまちの形成について識者、温故知新の講演でした。  
(文責:総務委員長 齊藤 徹)

リレー講座1  
「江別の屯田兵」  
講座の様子は  
こちらの  
「QRコード」から  
ご覧になれます。



令和4年度 生涯学習リレー講座くえつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座  
**「江別を知るタイムトラベル」** **入場無料**

会場/江別市民会館 2階 21号室(江別市高砂町6番地)

**講座1**  
令和4年9月2日(金) 18:30~20:30(先着60名/受講料無料)  
「江別の屯田兵」  
講師:屯田資料館解説員 龍本 英世 氏

**講座2**  
令和4年9月9日(金) 18:30~20:30(先着60名/受講料無料)  
「開拓と土づくり」  
講師:株式会社ナラ工業 代表取締役 NPO法人くえつ協働センター 理事長 奈良 幸則 氏

**講座3**  
令和4年9月16日(金) 18:30~20:30(先着60名/受講料無料)  
「北越殖民社と関矢マリ子」  
講師:札幌女性史研究会 代表 西田 秀子 氏

TEL 011-381-1062 / FAX 011-382-3434  
E-mail: shougaiakushu@city.ebetsu.lg.jp  
江別市生涯学習推進協議会 ホームページ: http://shougai.ebetsu.org/生涯学習推進協議会/

## ら・ら・らフェスティバルを終えて

令和4年9月4日(日)に野幌公民館にて、会員の日頃の活動成果を発表する「ら・ら・らフェスティバル」が開催され、ステージ発表に3団体、体験ブースに9団体、PRブースに6団体が参加しました。ここでは、事業委員会及び各参加団体から当日の様子を紹介いたします。

### 令和4年度 ら・ら・らフェスティバルが 終わりました!

令和3年度は急遽中止になった「ら・ら・らフェスティバル」は、今年度新型コロナウイルス対策を講じてやっとな実施する事ができました。江別市生涯学習推進協議会が主催で開催致しましたが、教育委員会を始め事業委員会の担当の方、そしてフェスティバル開催に向けてご尽力頂きました多くの皆様に感謝申し上げます。

天候にも恵まれ、残暑の中たくさんの方のご来場がありました。ステージ発表では「江別まっことええ&北海道情報大学」によるYOSAKOIソーラン踊りが披露され、また「語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭」によるえべつ俄(にわか)では「えべつちゅん」が登場し一段と盛り上がりました。場内にはPRブースが設けられ、体験ブースもありました。

閉会式では、江別市開基100周年を記念して作られた、「いすみたく作曲・山川啓介作詞」の江別の歌「風はみどり」のCDを流しながらえべつ手話の会の方々による手話が実施され、終えることができました。最初から最後まで会場頂いた方々は楽しく参加していたと感じました。

以前は午前から夕方まで長時間実施できましたが、新型コロナウイルスの影響で短縮しての実施が続いています。たくさんの方々が加盟している江別市生涯学習推進協議会としては、もっとPRする場として活用させてあげたいと思っています。もう少しの辛抱と、早期

の事態収束を願ってやみません。生涯学習のマスコミ「マナビイ」と共に祈りしています。

### ステージ発表

**ら・ら・らフェスティバルに参加して**  
語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭  
北本 京子

ら・ら・らフェスティバルは初めて出演させていただきました。  
「えべつ俄(にわか)」は上演を始めまして、もう10年目となります。この頃はだいたい、市民の皆様にも楽しんでいただいています。しかしながら、この数年は「コロナの影響で上演する機会がなくなり、今回はほぼ10か月ぶりの上演でございます。

今回から、一地域のためのSDGsなブチ演劇という副題をつけてみました。大森あたりに隠れ住むエソヒグマ、野幌丘陵に出没するエソシカ、石狩川を遡上中、江別あたりに着きましたシャクたちが江別市を舞台上に繰り広げるトタバタ劇です。

より分かりやすく親しみやすい楽しめるお芝居を目指しています。演劇は演者、裏方、観客と、ごなたでも参加できる芸術です。いつでも皆様をお待ちしております。

「うるうる亭」の発表の様子はこちらの「QRコード」からご覧になれます。



**いいね!!**  
**ら・ら・らフェスティバル**  
子ども文化ネットワーク・江別  
高木 玲子

3年ぶりのフェスティバル「こねっと」も張り切って参加しました。フェスティバルの目的は、日頃の活動成果を市民の皆様へ伝える場、そこで19年間の活動を画像で見たいだくことにしました。改めて見直すたくさんの方のつながりが、そこにありました。「こねっと絵本フェスティバル」に協力していただいた小学校の読み聞かせのお母さんたち、音楽や人形劇で楽しませてくださった団体の皆さん、快く講座の講師を引き受けてくださった文庫の皆さん、絵本の良さを伝えてくれた絵本作家さんたち、そして、参加された人々と子どもたち、どの場面も輝いていました。

来年は20年、ネットワークの力で子どもたちに感動の輪を届けたと思っています。

「子ども文化ネットワーク・江別」の発表の様子はこちらの「QRコード」からご覧になれます。

「子ども文化ネットワーク・江別」の発表の様子はこちらの「QRコード」からご覧になれます。

↓



3年ぶりの「ら・ら・らフェスティバル」。久しぶりの再会を喜ぶ姿があちこちで見られ、準備も笑顔で始まりました。

子ども劇場は、老若男女が一緒に楽しめる「ボードゲーム体験コーナー」を行いました。ステージ発表を挟んでの2時間でしたが、ステージが楽しく見えたえのあるものばかりだったこともあり、あっという間に終了時間となっていました。ゆっくりできる時間がないと、なかなかボードゲームで遊んでいく気分にはならなかったのか、今回はあまり多くの人には体験してもらえませんでした。

年齢問わず盛り上げられるボードゲーム。いろいろな種類があり、

## 体験ブース

### 「ボードゲームは いかがですか？」

江別子ども劇場 吉田 敦子



「江別子ども劇場」のブースの様子はこちらの「QRコード」からご覧になれます。



気に入るものもあると思いますので、次の機会にはぜひ触れてほしいと思います。

## これからのイベント

- ◆ 語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭 (連絡先/北本：090-4877-5798)
  - 市民文化祭「えべつ 民謡熱唱大会」
  - 日 程/令和4年11月13日(日)
  - 場 所/えぼあホール
  - ※詳細は上記連絡先までお問い合わせください。
- ◆ NPO法人えべつ協働ネットワーク (連絡先/成田：011-374-1460)
  - 江別まち検定
  - 日 時/令和4年11月27日(日)
  - 初級10:30~11:30 上級13:00~14:00
  - 場 所/市民交流施設ばらっと
  - 受験料/各1,000円
  - 内 容/色々な江別の魅力を知っていただき、もっと江別を好きになっていただける事を目的に開催します。
- ◆ おはなしなあに(連絡先/松山：011-383-5751)
  - クリスマス会
  - 日 時/令和4年12月10日(土)10:00~11:30
  - 場 所/大麻公民館2階研修室3号
- ◆ 江別美術協会(連絡先/吉田：011-383-9103)
  - 第48回江別美術協会チャリティ小品展
  - 日 程/令和4年11月21日(月)~11月28日(月)
  - 場 所/大麻公民館 ギャラリー
  - 内 容/会員の小作品絵画販売。販売代金の2割を社会福祉協議会に寄附します。
- ◆ 江別生涯学習インストラクターの会 (連絡先/松山：011-383-5751)
  - 「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」
  - 日 時/令和5年1月28日(土)10:30~11:30
  - 場 所/野幌公民館 和室1・2号
  - 講 師/風の子文庫副代表 片桐 亜結子 氏
  - 参加料/無料
  - 定 員/親子10組(2~3歳)
  - 内 容/親子で遊ぶ時間の大切さ、絵本を楽しむこと、手遊び、冬のおうち遊びを楽しみましょう。
  - 申込先/上記連絡先の松山まで(留守番電話対応のため、返信先を教えてください)

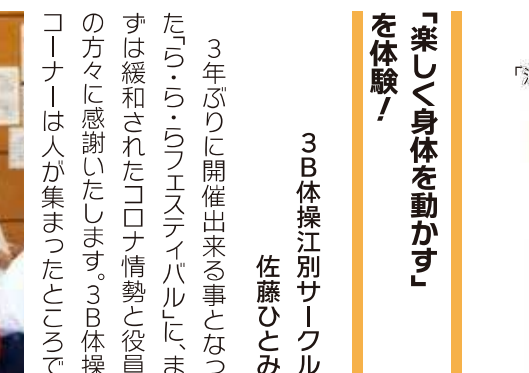
「地域で自ら進んで学習・活動するお手伝いをする」というものがあります。今回は布マスクのリメイク、クッキング・オフはがきの書き方を来場者に体験していただきました。

## 「知は力なり」

江別消費者協会 表 亜由美



使用した布マスクは国の在庫として眠っていたもので、縫い糸をほどこガーゼで布巾を作るというもの。会場では刺繍糸でアークメントをつけた作品を展示しました。また、クッキング・オフという言葉は知っていても手続き方法を知らない方のために、紙に実際に記入していただき注意もお伝えしました。



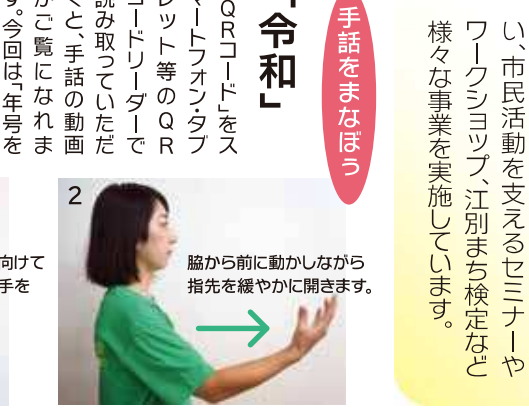
「知は力なり」という言葉があります。知識は生活を豊かにするだけでなく、生活を守る武器にもなります。これからは様々な場所で情報提供していければと考えています。

《編集後記》  
 今年は、本会の最大イベントである「ら・ら・らフェスティバル」の結果をご報告しています。ステージ発表や体験ブース、PRブースなど盛り沢山の内容で大盛況でありましたことを誌面でお楽しみください。  
 また江別の歴史を学ぶリレー講座も興味深い内容です。今回は講座1のみの掲載ですが、次号では講座2・3もご紹介いたしますので、皆様もタイムトラベルして学びましょう。  
 挽地 貴司

生涯学習推進協議会のホームページで見られます。QRコードからご覧いただけます。



「ら・ら・らフェスティバル」全体の様子はこちらの「QRコード」からご覧になれます。



「3B体操江別サークル」のブースの様子はこちらの「QRコード」からご覧になれます。

